

第3回

白石町新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金効果検証会議 議事録

- 開催日時：令和6年5月14日（火）10：00～11：25
- 開催場所：白石町役場3階大会議室
- 出席委員：吉村委員、馬渡委員、西山委員、副島委員、伊東委員、木下委員、百武会長
- 事務局：筒井企画財政課課長補佐、古川財政係係長、山口総合戦略課長、
喜多総合戦略課課長補佐、辻白石創生推進係係長、
白武白石創生推進係主事、森白石創生推進係主事

《 議 事 録 》

1. 開会

○総合戦略課長

おはようございます。本日は何かとお忙しい中出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第3回白石町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証会議を開催させていただきます。司会を務めさせていただきます、総合戦略課の山口でございます。どうぞよろしくお願いいたします。委員の皆様、ご承知の通り本会議でございますけれども会議録を作成させていただいております。ホームページの方にもアップさせていただいております。今回はAI 会議自動作成ツールというものを使用しております。

資料の確認をします。まず委員の名簿の方をおつけしております。それとパワーポイント横版の資料をおつけしています。こちらの方でご説明をいたします。効果検証シートを2枚、令和4年度事業分と令和5年度事業分ということで二つおつけしております。本日は先ほどのパワーポイントの資料横版を1枚めくっていただきますと、ここに次第をおつけしております。この内容に従いまして進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは、式次第、会長挨拶でございます。会長でございます百武副町長の方よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

○会長

改めまして皆さんおはようございます。私の方から一言ご挨拶をさせていただきたいと思います。本日は皆様方には大変お忙しい中にコロナ交付金効果検証会議ということで開催をいたしましたけどもご出席をいただきまして本当にありがとうございます。もう新聞報道があつて、皆さん方もご存知のことと思いますけども先月発表されました人口戦略会議の報告書においてはですね、本町が30年間で20歳代から30歳代の女性が半数以下となる消滅可能性自治体ということで分類をされました。県内では玄海町、太良町に次いで大きい減少予想がなされておりまして、本町は10年前の予測よりも悪化をしているといった内容でございました。人口の増減のみで自治体を分類するということには、若干違和感というものはございますけども厳しい予測に危機感を持っているところでございます。今後も移住定住支援、それから子育て支援を行いながら人口減少に対応した地域づくりに取り組みまして活力ある持続可能なまちを目指していきたいということで考えているところでございます。それから現在の物価高騰への対応でございます。コロナ臨時交付金は今回の検証分で終了ということになりますけども、昨年度から国におきましては、低所得者への給付事業や定額減税等に活用する物価高騰対応の臨時交付金が創設をなされました。現在も物価上昇は続いておりまして、白石町内でも影響が出ております。国の動向を見ながら対応していきたいと考えているところでございます。本日の会議につきましては、令和4年度、5年度のコロナ臨時交付金事業の事業説明と、効果検証を予定いたしております。どうか委員の皆様方の忌憚のないご意見をいただきますよう。お願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 協議事項

○総合戦略課長

ありがとうございました。なお事務局の方でございますけれども、総合戦略課の方で務めさせていただくというのと今回企画財政課から財政系の担当職員も参加させていただきます。よろしく願いいたします。それでは協議事項の方に入ります。ここからは百武会長の方に議会の議長をお願いいたします。よろしく願いいたします。

○会長

それでは私の方で議長を務めさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。コロナ臨時交付金事業の効果検証会議は今回が3回目でございます。令和2年度が25事業、令和3年度は11事業。本日検証していただきます、令和4年度が16事業、令和5年度が3事業を行っておりまして、4年間で55事業、額にして約12億7000万円を執行いたしております。過去の経済対策と比べまして大きな規

模となったところでございます。使途につきましても庁内全体で検討を行い、幅広い分野で活用をしてきたところでございます。それでは早速3番、協議事項に入っていききたいと思います。令和4年度実施事業についてに入ります。16事業ありますので、5つ5つ、6つに分けて区切って行っていききたいと思います。それではまず1から5まで事務局から説明をお願いします。

(1) 令和4年度実施事業について

○白石創生推進係長

白石創生推進係です。よろしくお願いします。それでは1番目の白石町特産物PR事業です。まず事業概要です。アフターコロナに向けましてレンコン等の特産物のファンの獲得それからコロナで落ち込んだ需要を喚起するためにオンライン等で特産物の試食およびSNSを使ったPRを行っております。成果目標ということで今回から各事業に成果目標を設定いたしています。マスコミで取り上げられる回数を2回、それから2つ目の目標が町および特産品の認知度向上と購買意欲を創出するため試食会への1,000人以上の参加を目指す。この目標に対する結果ですけれどもマスコミには取り上げられなかったですけれども、1,500人程度の参加があり、インスタ等でPRを行い、インプレッション数は4万回を超え、多くの方にPRができております。事業実績です。料理教室最大手ABCクッキングスタジオと連携して事業を実施しております。まずメニューの開発としまして、レンコンを活かしたレシピ開発、レンコンキムチチヂミ、肉巻きレンコンという二つが開発されております。それからモニター企画としまして、応募者に白石レンコンを送付しまして料理配信を参考に料理をしていただき、感想等をSNSで投稿してもらっています。三つ目が試食会ということでABCクッキングスタジオの五つの会場でレンコンの試食会を実施しております。5会場ですけれども、参考までにルミネ大宮、新宿高島屋、ルミネ池袋、横浜モアーズ、JR博多となっています。事業費は319万円です。事業評価としまして、需要が低迷した町の特産物について首都圏や福岡県への都市圏向けにPRすることができました。

続きまして2番目のデジタル業務効率化支援事業です。事業概要は、コロナウイルス感染症防止対策で多忙化している庁内各部署の業務において通常業務を含めまして、行政事務の効率化のためRPAやAI-OCR等を利用したデジタル化に適した業務の選定・検証を行い導入しました。まず、RPAとはロボットによって業務を自動化するというもので、AI-OCRはAI技術を取り入れた光学文字認識機能となっています。成果目標です。庁舎内業務のデジタル化等による効率化できる業務の抽出を20業務。この中から令和4年度中にRPAやAI-OCR等によるデジタル化を実施する業務を10業務。この目標に対し結果は、30業務を抽出し、その中から10業務を選定し、最終9業務

の実施を行っております。事業実績です。デジタル業務効率化支援事業委託料として 539 万円。デジタルソフトウェア使用料として 198 万円です。事業費合計で 737 万円。事業評価としまして、役場業務において、デジタルによる業務効率化に着手することができ、自治体 DX の推進に必要な町職員の情報リテラシー、情報活用能力の向上が図れました。

続きまして 3 番目のスマイルしろいし商品券給付事業です。事業概要はコロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた町民生活の負担軽減と地元経済の活性化を支援しております。類似事業としまして、令和 2 年度にはプレミアム商品券、令和 3 年度に 1 人当たり 3,000 円の商品券給付事業を行っております。成果目標は、商品券換金率 95%以上を目標とすることに対しまして、結果 98%以上の換金率となっております。事業実績は 1 人につき 5,000 円の商品券を今回郵送しております。ここ記載のとおり、商品券の利用期間、取り扱いの事業者数などをご覧の通りとなっております。発行総額は 1 億 927 万 5,000 円ということで、単純に 5,000 円で割りまして、2 万 1,855 人が商品券を受け取られた人数ということになります。換金額が 1 億 777 万 9,000 円未換金額 149 万 6,000 円ということで、換金率が 98.63%となっております。事業費としまして、1 億 1,580 万 6,857 円ということで、内訳としましては、商工会補助金、郵送料、消耗品ということになっております。事業評価は町民の生活を支援し、地域経済の回復に寄与できました。

○白石創生推進係主事

私、白石創生推進係白武と申します。続きまして 4 番の新生児子育て応援特別給付金について説明させていただきます。事業概要は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子供を産み育てる家庭を応援するため、新生児 1 人につき 10 万円を給付しました。対象は令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までに生まれた白石町の住民基本台帳に登録されている子供さんで、給付対象者はその父か母もしくは住民基本台帳に登録されている同一世帯の方となります。給付額は 1 人につき 10 万円です。成果目標としては、対象者への支給率 100%としまして、結果は 100%となっております。事業実績は 95 人に給付を行っており、事業費全体は 950 万円となっております。事業評価は子育て世帯の経済的負担を軽減し、生活を支援することができました。

○白石創生推進係長

続きまして 5 番目の白石町米価下落対応次期作支援事業です。まず事業概要です。コロナの影響による需要の低迷で令和 3 年産米の米価が下落して農家収入が大きく落ち込んでおります。そのため次期作に取り組む農業者を支援しています。事業内容と

しまして、令和3年産米主食用米の作付面積から自家消費相当分を引いた面積を上限としまして、令和4年産主食用米の作付面積および大豆に転換した面積に対し支援をしております。対象者につきましてはここ記載のとおりでございます。それから交付単価につきましては10アール当たり1,200円となっています。ここも類似事業としまして令和2年度に実施をしております。成果目標は対象者への支給率100%ということで結果100%となっています。事業実績は、農家対象者数が1,710、対象面積が2,634.4ヘクタールとなっています。事業費は3,161万2,800円です。事業評価としまして米価下落による負担軽減のための助成を行ったことで次期作へ繋げることができました。以上となります。

○会長

はい、ただいま1番から5番までの説明がございました。ただいまの説明についてご質問等はないでしょうか？もう何でも結構ですのでお願いします。

○委員

1番の白石町特産物PR事業の分で2点お尋ねです。まず1点目ですけれども成果目標の中でマスコミの取り上げ回数ということで挙げてらっしゃいまして、実績はなかったということですが、これは何かマスコミに対してプレスリリースとか、そういったものはあったのでしょうかという点。もう1点はメニュー開発をされてチヂミと肉巻きレンコンとありますけれども、こちらはレシピとかは町のホームページなどで公開とかされてますでしょうか？以上2点です。よろしくお願いします。

○白石創生推進係長

プレスリリース数につきましてはABCクッキングスタジオの方からはされてありましたけれども、町の方からもプレスをやったか確認をいたします。それからもう1点が新しいレシピにつきましては、現在ホームページではまだ掲載がなかったかと思っています。

○委員

また今後、レシピを載せられるという意味ですかね。

○総合戦略課長

おそらくウェブ上とか、そういったところでは当然載ってきているもの自体も出ています。今後、観光協会のお話の中ですか、観光関係のプロジェクトの中でも食品に関して、特に特産品を活かした料理開発のところは、もう1回力を入れていこうということでもございますので、もう1回この辺りの、せっかく開発したレシピですの

で、今後 PR の方も十分考えていきたいと思っております。

○会長

はい、ありがとうございます。よろしいですか。それでは町がマスコミにプレスリリースされたかというのは、調べてください。

○事務局

はい。

○会長

他ございませんか。

○委員

2 番に関して、効果検証という形で今回お伺いし、成果目標・実績は数値化で評価されるけども、評価のところで「取れた」とか「できた」という評価はちょっと抽象的でもうちょっと具体的な数字が現れたらいいなということで思いました。例えば、残業は部署によってこれぐらい減ったとか、できるところとできないところあるかと思いますが、何かそこら辺がちょっと評価のところで判断しにくいなというところがちょっと感想としてありました。その点いかがでしょうか？

○会長

事務局お願いします。

○総合戦略課長

実は内部の DX 推進会議とかで、詳細に実績の方を出しています。ここの RPA ですとか AI-OCR を導入したことによってどのくらい時間効率管理が図ったか。どのくらい残業が減ったのかというのを、効果検証はやっています。しかしながら、ここの出し方として、ちょっとぼやつとした出し方にはなっていますが、効果検証をやっばりもうちょっと詳細に出す必要もあると思っておりますので、そのあたりは少し検証としてかなり精度の高いところでやっていますので出し方はもうちょっと考えてみたいと思います。ありがとうございます。

○白石創生推進係長

先ほどの件で補足いたしますと、実績としての 9 業務を実施したということで具体的に申し上げます。口頭になりますけれども、指名委員会案件の取りまとめ業務、税金の還付処理における財務会計システムへの還付伝票起票業務、それから保育所の入

所申し込みの受付業務、乳幼児健診の結果の処理業務、重度心身障害者医療費の助成の月次処理、こういった業務をなされております。

○委員

例えばそういうところですね、その業務自体は私達はわからないところで、役場職員さんが、ものすごく遅くまで残業された部分がこの事業をすることによって、どれぐらい改善が図られたというところが書いてあると、非常に具体的でわかりやすいのかなというふうに思いましたので、今後ちょっとそういうふうにされるとよろしいかなと気づきで思いました。

○会長

ただいまの意見については、実際はそれぞれの業務について縮減できた時間数、作業時間数とかですね、効果的には何時間あったとかは、実際の数値はありましたか？例えば代表的な例でどのくらい削減できたかというのをお願いしたいと思います。

○総合戦略課長

全体の対応前の時間が 4,800 時間であったものが、対応後は 2,728 時間ということで削減率 44.1%、削減時間が 2,150 時間。これは、今申しました 9 事業におけるところですが、実際このシステムを導入してこの 9 事業だけではなくて、継続して RPA ですとか、AI-OCR というところとちょっとわかりにくい書き方ですけども、今まで文字を書いていたものを機械で読み込んで、そのまま OCR 化して自動で計算できるというシステムなんですよ。それを活用したところというのが、この 9 事業だけではなく、もうちょっと幅広くできるのではないかとこのところも検証中でございます。一旦の成果としては、先ほど申しました 9 事業のところの全体の時間であるとかそういったところを示した方がわかりやすいと思いますので工夫をしてみたいと思います。ありがとうございます。

○会長

全体的な効果を発表されましたけども、それぐらいでいいですかね。

○委員

今回はいいところもあるだろうなと思ったから。はい、ありがとうございました。

○会長

他にございませんか。よろしいですかね。はい、それでは一旦次に進めたいと思います。次に 6 番から 10 番までに入ります。まず説明をお願いします。

○白石創生推進係長

はい。それでは6番目のふくどみマイランド公園整備事業の説明からいたします。事業概要ですけれども、公園利用者が密を避けながら、新しい生活を踏まえた公園利用ができるようにということと、もう1点がアフターコロナを見据えまして町内外から多くの方々が訪れて、交流の場として利用していただくように、公園の一体的な整備を行い、町の魅力向上を図っています。具体的には遊具の整備とトイレの改築ということになります。成果目標ですけれども、休日の来園者数を2倍以上に増やすということで、この数字は、遊具があるわんぱく広場への来場者数ということになります。この目標に対する結果は、整備前は休日でも来園者数名であったが、整備後は休日の来園者は100人以上と大幅に増えております。事業の実績ですけれども、遊具の工事費、設計工事費で4,889万5,000円、トイレの分が二つ合わせまして3,101万5,600円ということで事業費としまして7,991万600円となっています。この他にも町の単独事業で案内板の看板設置工事なども別に行っております。事業評価としまして施設利用者の感染予防対策が図られました。

○白石創生推進主事

続きまして7番、ゆうあい図書館運営費についてです。事業概要は新型コロナウイルス感染防止対策として、書籍等の除菌やホコリの除去ができる図書除菌機を購入しました。この導入した除菌機は紫外線照射で除菌し、書籍に対して下から風を当てて埃を飛ばす処理をするものとなっております。成果目標は、多くの人が触れる書籍に対し、利用者の不安を軽減し、貸し出し後に除菌機を使用してもらい、安全快適に書籍を利用できる環境整備を行う。前年貸し出し冊数の2%増を目指しました。結果として不特定多数の人が使用する図書の本を消毒することにより、利用者に安心安全な図書館環境を提供することができました。ただし貸し出し冊数については、貸し出し冊数増を見込んでいた夏休みイベント開催時にコロナ感染者が増えまして、図書館の来館者数が減少し、目標冊数に届きませんでした。事業実績は、図書除菌機購入費で、106万7,000円。事業費全体で106万7,000円となっております。事業評価は、書籍利用者の感染予防に寄与することができました。

○白石創生推進係長

続きまして8番目の保育園給食材料費等高騰対策費です。事業概要は給食材料費が高騰する中で、保育園の提供する給食の質を維持するため、材料費等の高騰分に助成を行っております。この事業は県の補助事業を活用した形となっております。給食材料費の実績額から標準的な給食費を差し引いた分に対して助成を行うという形でございます。成果目標としまして、給食費を据え置くということに対しまして、結果とし

て給食費を据え置き、給食の提供ができております。事業実績としまして、町の全体の補助額が147万7,000円に対して、県の補助金が85万3,000円ということで差し引き62万4,000円が事業費ということになります。補足ですけど、1号・2号・3号ですが、1号は満3歳児以上で教育標準時間認定4時間を受けておられる子供さんとなります。2号認定は満3歳児以上の保育の認定、3号認定は0歳から2歳児の保育認定ということになります。事業評価として保育園や保護者の負担軽減に寄与できております。

○白石創生推進係主事

続きまして9番、学校給食材料費等高騰対策費について説明いたします。事業概要は、コロナ禍において給食材料費が高騰する中、給食の質を維持するとともに、保護者の負担軽減を図るため、学校給食費高騰分相当額に交付金を充当しました。なお、給食費については町の施策として小学6年生と中学3年生の給食費は無償としております。成果目標としまして給食費を据え置くことで、結果、給食費を据え置き給食の提供ができました。事業実績は1食当たり単価の高騰額が、小学校は21円、中学校は24円となっております。給食日数が小学校は181食、中学校は182食です。交付金算定額は小学校1年生から5年生の893名で、339万4,293円。中学校1年生から2年生の362名で158万1,216円となっております。事業費全体は497万5,509円となっております。事業評価は給食費を据え置くことで、子育て世帯の負担軽減が図れました。

続きまして10番、白石町医療・介護・障害福祉事業者等物価高騰応援金について説明いたします。事業概要は、コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている町内の医療機関、介護福祉事業者、障害福祉事業者、保育所等に応援金を交付することで負担を軽減し、事業継続を支援しました。交付上限額は医療機関や事業所等の種別による基本額と病床・定員数による算定額に応じて設定しています。成果目標としては、対象事業者への支給率を100%としまして、結果実績として88事業者となっております。事業実績は、医療機関が39医療機関、介護福祉事業者が19法人、障害福祉事業者が7法人、施術所が15事業者、保育所等が8園です。事業費全体は、1,326万4,500円です。事業評価は地域の医療介護等の事業者を支援することで、福祉の充実を図ることができました。

○会長

ただいま6番から10番までの説明でございました。質問に入る前に先ほど1番の方で委員さんからの質問にお答えできてなかった分を、説明をお願いします。

○総合戦略課長補佐

1 番の白石町特産物 PR 事業に関してプレスリリースを行ったのかというところのご質問いただいた部分ですね。そちらの方をちょっと先ほど調べてまいりました。プレスリリースは行っていないということのようです。PR については町の LINE、Facebook、それと ABC クッキングスタジオさんの公式ホームページであるとか、YouTube であるとかですね。そちらの方で PR を行っていた状況ということで確認が取れました。以上でございます。

○会長

よろしいですか。

○委員

はい。

○会長

それでは 6 番から 10 番までについてご質問のある方お願いします。

○委員

6 番のふくどみマイランド公園整備事業ですけど、成果目標が来園者を 2 倍以上に増やすというところで、100 人以上と大幅に増えたんですけど、事業評価が成果目標とちょっとあまり関連してないとかですね、感染予防というよりは、これはもう魅力を強めて、来場者を増やすというのが目標ということで、これは事業目標として達成できたというふうに考えてよろしいんですかね。

○会長

事務局お願いします。

○白石創生推進係長

はい。ちょっと成果目標と事業評価があまり一致しないということだったと思います。この事業を行うにあたって、コロナ臨時交付金を活用するということでコロナ感染対策の要素も取り入れながらも、実質的にはアフターコロナを見据えて、多くの方が利用していただくということを目標に、この遊具の整備を行っております。おっしゃられるとおり事業評価は、「感染予防対策が図られた」ともう一点、成果目標に近い文言が確かに必要かなとは思いますが。

○委員

わかりました。100人以上大幅に増えたと思ったので、これもかなり評価としては高いのかなと思ってそれで聞きました。はい、ありがとうございます。

○会長

ありがとうございました。他ございませんか。よろしいですかね。それでは、ないようでございます。最後に11番から16番までに入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

続きまして11番、物価高騰等に伴う水道料金特別減免事業について説明いたします。事業概要はコロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている一般家庭および事業所への負担軽減策として、一定期間、水道料金のうち基本料金を減免することに伴い、水道事業を行う佐賀西部広域水道企業団に対し、減免相当額を補填しました。対象者は事業者を含む町内の水道使用者となっております。ただし官公庁等は除きます。減免期間は令和4年11月から令和5年2月までの4箇月間の使用分となっております。申請手続きは不要で、請求時に基本料金分を減免して請求しました。減免額は白石地域、有明地域、福富地域の一部が使用料5tまでが1,410円、使用料10tまでが1,905円、そして福富地域の一部（旧西佐賀水道企業団区域）が1,300円となっております。成果目標は、対象事業者への支給率100%としまして、結果100%となっております。事業実績は、上水道料金が6,163万9,556円。システム改修費が51万7,000円。減免件数が3万2,627件です。事業費全体は6,215万6,556円となっております。事業評価は一般家庭や事業所の負担軽減に寄与できました。

○白石創生推進係長

続きまして12番目の肥料価格高騰対策事業です。事業概要は、コロナ禍において肥料価格高騰の影響を受けた農業者、集落営農法人等に対して、化学肥料の2割低減に向けて取り組む農業者等に肥料費上昇分の一部を支援しています。対象者は農業者、集落営農法人等です。対象経費は、令和4年6月から令和5年5月までの間に適用された価格で農業者に販売された肥料購入費のうち、前年からの肥料費上昇分に係る経費の一部となります。補助率は、肥料費上昇分の15%以内となっています。この事業はまず上昇分の7割を国の補助事業で支援する事業がっております。それから残りの3割のうち町と県で15%ずつを補助するという仕組みになっておりますので、ただし書きがありますとおり、上昇分が3割を超える場合は、町の補助金の減額調整を行う場合があるという仕組みになっています。成果目標は、対象者への支給率100%。結果は100%となっています。事業実績としまして、令和4年秋肥が令和4年6月から令和4年10月までの注文分、令和5年春肥が令和4年11月から令和5年5月までの注

文分と二つ合わせまして 864 万 9,540 円です。事業評価としまして農業者、集落営農法人等の負担軽減に寄与できています。

続きまして 13 番目の資材価格高騰対策事業（共乾再編）でございます。事業概要は、コロナ禍において物価高騰の影響によって建築鋼材等が高騰し、佐賀県農業協同組合が実施する共乾再編整備事業に係る事業費が大幅に増加しています。そのため、共乾利用農業者の負担軽減を図るために支援を行っています。対象者は佐賀県農業協同組合。対象経費は白石、北有明、福富地区の共同乾燥調製施設の再編統合に係る整備事業について産地生産基盤パワーアップ事業を活用して行っておりますけれども、外構工事など補助対象外経費の物価高騰による事業費の上昇分に支援を行っております。成果目標は共乾利用農業者の利用手数料の上昇額を 1 キログラムあたり 1 円以内に抑えるということに対しまして、結果は固定資産取得額の圧縮財源としたことで、共乾利用者の施設利用料の上昇額を 1 円以内に抑えることができております。事業実績としまして、産地生産基盤パワーアップ事業補助対象外分の価格上昇額が 1,018 万 4,500 円ということでこの分が事業費ということになります。事業評価として共乾利用農業者の負担軽減に寄与できております。

続きまして 14 番目の白石町中小事業者エネルギー価格高騰対策支援金です。事業概要はコロナ禍においてエネルギー価格高騰の影響を受けている町内商工事業者に支援金を交付することで負担を軽減して事業継続を支援しております。対象事業者はここに記載のとおりとなります。4 つございますけれども、4 つ目の町が行う「医療・介護・障害福祉事業等物価高騰応援金」の対象者ではないこと。この分は先ほど 10 番目の事業ということで、ここと重複がないように整理をしております。算定方法としまして、光熱・燃料費について過去と比較して増加した額の 2 分の 1 以内ということで、1 事業者につき上限額を 5 万円、下限額を 1 万円としております。この事業についても類似事業として令和 2 年度と令和 3 年度に行っております。成果目標は、対象事業者への支給率 100%に対して、実績は、予定 800 事業者に対して、実績 119 事業者。率にして 14.9%となっています。ここはあくまでも 800 という数は事業の対象者数ということであって要件を満たしたという数ではございません。事業実績としまして 119 事業者に対して 482 万 1,000 円の支援金額となっております。事業評価は中小企業・個人事業主の事業継続の後押しに寄与できました。

○白石創生推進係主事

続きまして 15 番、海苔養殖燃油価格高騰対策事業について説明いたします。事業概要は、コロナ禍において、海苔養殖業に係る燃油価格の高騰が海苔養殖業の経営を圧迫していることから、負担軽減のため補助金を交付し事業継続を支援しました。補助

対象者は、佐賀県有明海漁業協同組合。補助対象燃油はA重油。燃油価格高騰額は19.45円。補助率は補助対象事業費の4分の1以内となっております。成果目標は事業対象事業者への支給率100%としまして、結果100%となっております。事業実績は233万255円となっております、事業費全体も233万255円となっております。事業評価は、海苔養殖業の事業継続の後押しに寄与できました。

続きまして16番続きまして、しろいしいこカーまるっとフリーDAYについて説明いたします。事業概要はコロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を踏まえ、生活者の地域公共交通の負担軽減を図り、継続的な利用に繋げました。令和5年1月と2月に町内を運行する定時定路線いこカーの運賃を無料化し、無料となった運賃収入分を運行事業者に補助しました。成果目標としましては効果的な情報発信を実施し、現在の平均乗車率(1.0名)の3倍を目標としまして、結果として平均乗車率は1.15名となりました。補助額は利用者の乗車運賃を全額補助することとなっております。事業実績は補助金14万3,550円。チラシ印刷代10万8,900円。広報用映像制作24万9,700円となっております。事業費全体は50万2,150円です。事業評価は中小企業・個人事業主の事業継続の後押しに寄与できました。以上です。

○会長

ただいま11番から16番までの説明でございました。ご質問等ございませんでしょうか？いいですね。言い忘れたっていうものがあれば1番からでも結構ですので、言い忘れた分があればお願いしたいと思います。

○委員

何ヶ所かあるんですけど、気になった点としては、事業概要で「コロナ禍において」というのは、ほぼあるんですけども、これは「コロナによる事業縮小による高騰」なのか、それとも「コロナの時期に重なった高騰」なのかというのが、ちょっと分かりにくかったんですけど、どちらなのでしょう。高騰の原因は、コロナだけじゃないですね。

○会長

まず事務局から今の点でお願いします。

○白石創生推進係長

コロナ臨時交付金を活用するということで、この表現につきましては、こちらの方から各原課の方にこういった書きぶりということでお願いした経緯がございます。実はコロナ禍だから高騰したのか、どうかというところ、ちょっと非常に難しいとこ

ろがあるとは思いますが。

○総合戦略課長

実際そうですね。おっしゃるとおりです。ずっと頭に枕詞のようにコロナ禍においてというような形でつけていますが、例えば14番とか見てですね、これ主に電気代とかプロパンがなんで上がったかという原因というのは、恐らくロシアのウクライナ侵攻に伴う化石燃料の高騰に伴う電力の高騰であるとか、例えばですね、そういったものが複数の要因が絡んできています。ただ結果的には14番で言うところは、九州電力は値上げをしなかったんで、この分の補助金はさほど影響がなかったとかそういういろんな交付金・支援金への影響というのもあります。非常に多くの要因というものが重なる中ではあるので、「コロナ禍において」ということで、まとめさせていただいています。事業ごとの要因というものを、少し文頭を変えた形でつけた方がいいのでしょうかね。

○会長

コロナ交付金を充当した事業ということからすれば、先ほど言われた枕詞じゃないですけども、「コロナ禍において」というのがどうしても大前提で出てくるということからですね、こういった表現になっているかと思いますけども。実際はいろんな物価高騰関連はですね、いろんな要素も加わってきての対策ということではあると思います。ただそういったことで、コロナ交付金の充当事業ということで、今後こういった表現でということとはご理解をお願いしたいなというふうに思います。

○委員

わかりました。ありがとうございます。もう1点あります。交付するお金の算出根拠。例えば「物価上昇分を補填する」とか、「15%補填する」とかあとは「作付面積10アール当たり1,200円」。ぽっと出ていますが、その根拠がよくわからないなっていました。根拠指定してあるものもありますし、例えば15番の海苔養殖の関係では、ちゃんと補填額と理由が明記されていますが、書いてないものもあるので、そこはやっぱりきちんと算出根拠というものは、ちゃんと出された方がいいかなというふうに思いました。

○会長

ただいまのことで事務局お願いします。

○白石創生推進係長

こちらで把握している分でご説明をさせていただきます。5番目の米価下落対応次

期作支援事業の「10 アール当たり 1,200 円」の根拠ということですが、令和 4 年産種子代の価格が 1 キログラム 614 円ということで四捨五入して 700 円。10 アールあたりの種子量が上限 4 キログラムということで 700 円掛ける 4 キロ相当ということで約 3,000 円となります。その 3,000 円に対して 4 割の補助ということで 1,200 円と計算なされております。この 4 割とした理由ですが、営農再開・草勢樹勢回復等支援事業の補助率が 6 割だったということで、原課の方で 4 割と算定をされております。

○委員

詳しい話は後でも結構ですので、出されるときに出していただければと思います

○総合戦略課長

各々の事業で算出基礎というのはあります。それと二つ要因といたしましては、県・国・その他の事業分の補助金で出る分というのはその分は差し引きましょうというのは、これはもう当然です。それとどうしても全体の補助金の調整をとる中で予算組み、交付限度額というのがあります。例えば、優先順位をつけます。最終調整というのはどうしても予算額で、あとこれだけあるという中で。例えば 10 番の医療・介護・障害福祉施設の交付金なんかでいうと、ある程度事業所の規模によって応援金の額を決めていったりもするんですけれども、どうしても予算の枠の範囲中というのはございますのでそこに影響がされるというようなものも実際あるということです。

○委員

わかりました。ありがとうございます。

○会長

よろしいですか。他ございませんか。

○委員

14 番、中小事業者エネルギー価格高騰対策支援金ですけれども、こちらにつきましては商工会の方も相談というか申請の窓口になっておりまして、この実績にありますとおり 119 の事業者全てが商工会の方に申請されたわけではないですけれども、当初は 800 の予定に対して、119 しか申請されなかったというところについてはですね、残りの方は物価高騰エネルギー価格の影響を受けてないかっていうと多分そうじゃなくて、実際月ごとの電力とかエネルギーの量を算出して、その金額を対前年と比較してという、結構複雑な要件を満たさないと申請できないというところもあって、個人事業者であるとか。大きな会社では、そういった計数管理までできていると思いますけど、そうでない事業者さんにとっては、結構申請ハードルが高かったかな

というのは申請窓口として感じたところでありましたので、一応その点を申したいと思います。

○会長

ただいまの件について、何か補足的に事務局からございますか。

○総合戦略課長

ありがとうございます。確かにどのくらいエネルギー価格が比較して高騰して支援金をお出しすればいいのという部分で、これは言われたとおり大きな事業所というのは経理の方であるとか、そういった方がおられるので算出できるのでしょうけど、やはり個人事業主の方とか、その辺りの方はやっぱり申請するにも若干書類が複雑化するということで、実際お出しにならないというケースもひょっとすると見受けられるのかもしれませんが。そういったところをまさに私達反省点でございますし、ただ予測しておりましたよりも金額的に各々の事業者の金額としてはあまり出てこなかったのかな。エネルギーの上昇率というのが実は他の地区に比べるとあまり影響が少なかったかなという部分もあります。特に電力に関しまして九州電力の方ですね、北陸電力はおそらく43%という値上げをされたのだと思いますけれども、九州電力に関してはその間、ほぼほぼ値上げをされてないという。数円ですけど1kWアワー当たり、ほぼ0.数円ぐらいの値上げぐらいしかされてないのとか、その後に実際プロパンについてはですね、県の方からも現物の補助があったり、いろんな措置がございましたので、実際にあまり金額的にも上がらなかったものだとは認識しております。ただ先ほどおっしゃった件についてはですね、少し申請のやり方というのは、個人事業主さんあたりのところで十分に対応できるように、また前裁きをしていかないという思いをしております。ありがとうございます。

○委員

この件につきましては商工観光課の方とも1回ご相談があったり、やり取りは若干させてもらったりしたんですけどなかなか落としどころが見えなかったというところも実際あってというところも実際のところございました。

○総合戦略課長

はい。実際受け取る町の方もですね、この後の国の会検とか、その辺りも想定しますので、どうしてもここは出していただかないといけないという部分が出てきますので、なかなか難しいところだとは思っているんですけども。

○委員

はい。申請を受けられた方は本当に喜ばれていらっしゃいましたので、その点は本当にありがとうございました。

○会長

今後こういった事業があれば、その点、反省点を踏まえて進めてもらいたいと思います。他ございませんか。それでは時間の都合もございますので、次に進みたいと思います。令和5年度実施事業について入ります。1から3まで説明をお願いします。

(2) 令和5年度実施事業について

○白石創生推進係長

それでは1番目の物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金給付事業の説明からいたします。事業概要としまして、新型コロナウイルス感染症および物価高騰に直面する住民税非課税世帯等を支援するため1世帯当たり3万円を給付しています。こういった給付事業につきましてはこれまでも、非課税世帯等への臨時特別給付金と国の事業で実施をしてきておりますけれども、今回からこの臨時交付金の方に組み込まれたことで、この臨時交付金から見たら新規計上したような形となっております。支給対象者はここ記載のとおりでございます。令和5年度住民税の非課税世帯、または収入減少等によって非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）となっています。成果目標としまして、対象世帯見込み数の9割以上に給付金を給付するという目標に対しまして、結果、9割以上に給付ができております。ここの補足ですけれども、当初の見込みと実績が、ほぼ想定通りだったという原課の評価ということになります。事業実績としまして、1,525世帯に3万円を支給しまして、4,575万円。この部分は、支給対象者の①の方全てになっております。②番目の家計急変世帯の実績はあっておりません。それから事務費が227万712円となっております。支給時期につきましては7月から10月に行っています。事業費としまして4,802万712円となっております。事業評価は住民税非課税世帯の生活支援に寄与できました。

続きまして2番目のスマイルしろいし商品券給付事業です。事業概要は新型コロナウイルス感染症およびエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた町民生活の負担軽減を行っております。成果目標ですけれども商品券の換金率は95%以上を目標とするに対しまして、結果、98%以上の換金率となっております。事業実績につきましては1人につき4,000円の商品券を郵送しております。商品券の利用期間、取り扱い事業者数などは記載のとおりでございます。発行総額は8,566万円ということで、これを4,000円で割りまして2万1,415人が商品券を受け取られた人数となります。

換金額は8,453万4,000円、未換金額112万6,000円ということで、換金率が98.69%となっています。事業費は9,279万6,280円となっています。事業評価としまして、町民の生活を支援し、地域経済の回復に寄与できました。

○白石創生推進係主事

続きまして3番、海苔養殖資材価格高騰対策事業について説明いたします。事業概要はコロナ禍において、海苔養殖業に関わる資材価格の高騰が海苔養殖業の経営を圧迫していることから、負担軽減のため補助金を交付し事業継続を支援しました。補助対象者は佐賀県有明海漁業協同組合です。補助対象資材は、ダンボールとラッカサンとなっております。資材価格高騰額はダンボールが1枚あたり70円、ラッカサンが1枚当たり3円となっております。補助金額は資材使用量に資材価格高騰額を掛けた金額となっております。成果目標は対象事業者への支給率100%で、結果100%です。事業実績はダンボールが1万7,000枚で、119万円となっております。ラッカサンが37万4,488枚で112万3,464円となっております。事業費全体で231万3,464円となっております。事業評価は海苔養殖業の事業継続の後押しに寄与できました。以上です。

○会長

ただいま1番から3番までの説明でございました。ご質問等ございませんでしょうか？

○委員

令和5年度事業ですけれども、前年度は結構広めにいろんな事業に対して、交付出来ていますけれども、昨年度に関しては3件ですね。そのうち1番、2番に関しては、広く白石町内の方々に届いていると印象を受けたんですけれども、3番の件に関して、「コロナ禍における資材高騰」というのはいろんな業種、いろんな事業に対して係ってくるのに、なぜこの海苔関係のものがここに選ばれたかっていうのが説明いただければと思います。よろしくお願いします。

○会長

事務局お願いします。

○白石創生推進係長

臨時交付金に関して国から連絡等あったときには、まずもって役場庁内の掲示板で各課の方で検討できる事業等について依頼をかけていまして、その中でいろんな提案等あった中から検討しております。令和5年度につきましては、提案がなかったといえますか、この海苔関係しか提案がなかったという事情もあっております。それと令

和5年度交付金の額が少なかったということもありまして、それともう一点が令和5年度の途中から物価高騰の臨時交付金が創設をされまして、そちらの方にだんだんシフトがなっているということもあります。

○総合戦略課長

まさにおっしゃるように、町としては、主幹産業が農業であったりとか、海苔養殖業であったりという部分もあるんですけども、幅広くという意味ではですね、これまで商工業者の皆様にも補填をしてきた、支援金を出してきた。農業関係者の方も、肥料価格高騰対策を初め、多額の支援を行っております。その中で今まで実は海苔養殖業者に対する支援というのが233万円というような令和4年度の事業費でございますので、どちらかというと先ほど申しましたように令和5年度分というのは今までやってきてなかったところへのフォローアップという部分もあるんですね。そうしたところのバランスを考えてきたところに、町としてどうなのかというところを考えたときにもう一つ海苔養殖業者に対しても、補助金を行うべきではないだろうかという最終的な見解でございます。

○会長

よろしいでしょうか。はい。他ございませんか。それでは他にないようでございますので続きまして協議事項の(3)、効果検証シートに入ります。事務局から説明をお願いします。

(3) 効果検証シートについて

○白石創生推進係長

効果検証シートのご説明いたします。効果検証シートにつきましては令和4年度分が16事業、令和5年度分が3事業ありまして、前回同様、事業ごとの評価と総合的な評価を行っていただければと思います。まず事業ごとの評価ですけれども、今回から目標数値を設定しておりましたので、それに対する結果も踏まえまして、ABCどれかに丸をつけていただきたいと思います。それから裏面までございます、裏面は総合的な評価でございます。ここもABC、いずれかに丸をつけていただきたいと思います。それから自由意見の方も、こういった臨時交付金の活用に関しましていろいろなご意見をいただければと思います。まだ現在も物価上昇が続いているということから国における物価高騰対応の重点交付金等も十分考えられます。そういったことから今後の参考にさせていただきたく、幅広いご意見をいただきたいと思います。それと公表に関して、この事業の実施状況とその結果をホームページ等利用して公表することが制度化されております。そういったことからですね、この検証シートの提出を来

週 20 日月曜日までをお願いしたいと思っております。国・県への報告の関係で、本当に期日が短くて本当に申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

○会長

はい。ただいま効果検証シートのことについての説明でございました。これについて何かご質問等ございませんでしょうか？

○委員

出し方は持ってくるっていう感じですね。

○会長

提出については FAX でもメールでも持参でも結構だそうです。他ございませんかね。それでこの検証シートについては 5 月 20 日、来週の月曜日までということで非常に期限短くなっておりますけどもどうぞよろしくお願いをしたいと思います。それでは以上で議事の部を終了したいと思います。この後の進行を事務局の方へ交代します。

4. その他

○総合戦略課長

はい、ありがとうございました。それではその他のということで入らせていただいてよろしいでしょうか？会議の結果につきましては、事務局の方からですけどもホームページで公表しております。国の方より実施状況と効果検証につきましてはホームページの方で公開するように制度化されておりますので、いたしたいと思っております。本日の検証結果 5 月 23 日まではホームページの方で公開したいと思っております。議事録につきましては AI ツールで作成できましたら、直ちにということになりますけども、ご確認のために皆様方にお示しを郵送でさせていただければと思っております。非常に時間的にもタイトな感じになりますけども、よろしくお願いいたしますと思います。この後臨時交付金でございますけども新型コロナが今年の 5 月、ちょうど 1 年になりますけども、5 類に移行されたということでコロナ臨時交付金は終了をしております。昨今ですね、物価高騰に対します物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金というのが昨年度に創出されましたけども、国の方針に基づきまして昨年度よりお示ししましたように非課税世帯への給付事業を行っております。これに加えて今年度でございますけれども 1 人当たり 4 万円の定額減税ですとか調整給付事業ですね。それと町の事業ですけれども、子育て世帯を対象としました今回デジタル商品券の給付事業を行うようにしております。これは子育て世帯を対象とした商品券を

デジタルで行うというような事業を予定しているところでございます。それと、委員の皆様方の任期は今年度まででございます。ただ、ずっと予定しておりましたよりもずっと長くなっておりまして大変申し訳なく思っております。来年度以降も物価高騰の分の臨時交付金の効果検証というものは行っていきたいと思っております。この会議は継続ということになるかと思えますけれどもよろしく願いいたします。こちらの方からは以上でございます。皆様方から何かございましたら。

○委員

1 番でクッキングスクールじゃないけどあの PR 事業されたじゃないですか。こういうのって、総務課が考えて企画立案していくような形をされている。それともどっかで外部コンサルを入れてされてらっしゃるのかっていうところその辺どうなんでしょうか。

○総合戦略課長

営業ありきということ、外部からの営業ありきということではないんですよね。こういった形で PR のですね、プロジェクトチームなり総務課の方でこういったことで YouTube をテーマにしてやっていきたいなというところで、そういったことをやっているような業者さんを町が探していくというのが通常のやり方です。この事業のやり方はそういった流れだと思っております。

○委員

私も会社の中で広報の仕事をちょっとかいつまんでさせていただいている部分があってですね、私も 50 なんですけど、やっぱり見てる層とかで全然違って、実際若い女の子とか、主婦層とかその人たちの意見を取り組むために、おじさん連中が考えてもあんまり意見がですね、マッチしないのかなみたいなことがあったりですね。ちょっとだけ気になったんですけど、いこカーのところなんか半分ぐらい広告費になってしまっているところもあっているんで、何かもうちょっと効果的な使い方がないのかなという感じちょっとしましたので、多分そういうものに長けている職員さんがいらっしやったりとか、いい人材というか。我々も然りなんですけど、こういう表現だったりそういう人材とかをうまく活用しながらいいものを作っていこうみたいなことを取り組まれるといいんじゃないのかなとかですね。今日いらっしやった PTA の方とか、まさしくその主婦目線でこういうのしたらいいのになとか一番率直なご意見が出るかなとかですね。そうあるのでそれに今後活用されたらいいのかなと思いました。以上です。

○総合戦略課長

ありがとうございます。まさにそのとおりだと思うんですね。白石町特産物 PR 事業に関しましても決しておじさんだけで考えているわけではないんですけども、非常に若い職員の方の意見とか取り入れていきたいと思っております。それともう一つ、民間の方の連携ということもちょっと考えていかななくてはならないということで実はブランディング関係で、町全体のブランディングですけども、そこに関しましては大手ではございますけども電通九州の方と連携包括連携協定を結ばせていただいておりますし、今からまた電通さんだけじゃ当然ございません。地元の民間の事業者さんの方との繋がりというのがこれから多く出てくるものだと思っております。職員としてもそういった感覚を身につけてもらいたいなという思いもございます。これ女性目線ということは非常に大事なことだと思いますので、これから観光協会との連携を含めましたところで、そういったところにもぜひ女性の方にもこちらの方から声掛けをして参加いただきたいと思っているところでございます。ご意見ありがとうございました。あと、よろしいでしょうか？いいですか。はい。それではちょうど時間になりましたので閉会の方に入りたいと思います。

5. 閉会

○総合戦略課長

本日は大変お忙しい中長時間にわたりましてご協議いただきまして誠にありがとうございました。これをもちまして第3回白石町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証会議を閉会させていただきます。誠にありがとうございました。お疲れ様でした。